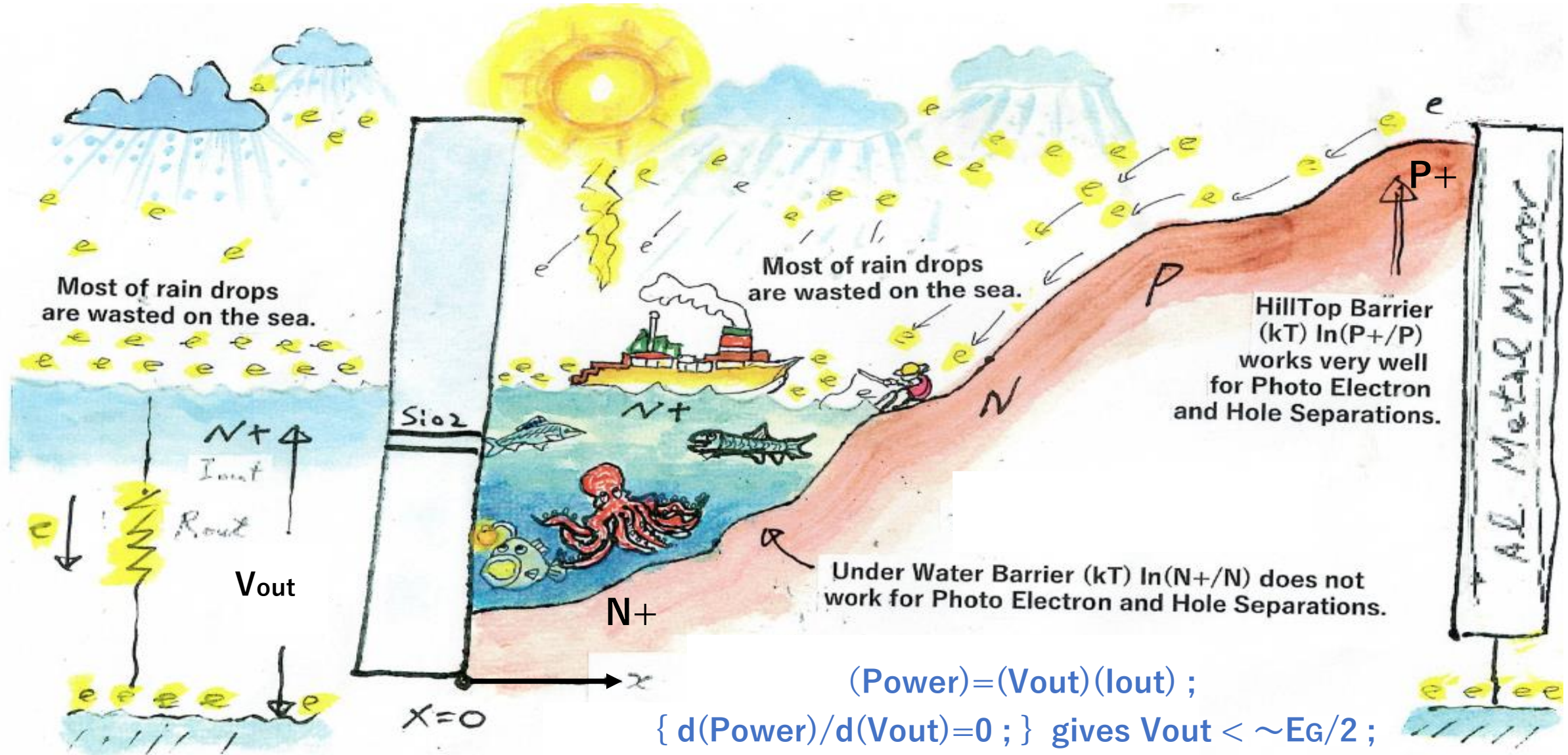


従来のN+NPP+シングル接合型太陽電池の問題点

受光表面付近の電位（水面）はFLATである。電界がない。受光面で光電変換され生まれた光電子とホールは分離されず、すぐに再結合する。



{ 1.1 volt > $E_g = V_{out} + V_B + (kT) \ln(P+/P) + (kT) \ln(N+/N) ;$ } の関係から基板濃度(P)は極端に薄くはできない。